

(7) その他の事項

1) 河川、湖沼等の利用状況

対象事業実施区域を含む周辺市町村の水道用水の年間取水量は、表 4-2-2-21 に示すとおりである。また、事業用水の年間取水量（簡易水道）は、表 4-2-2-22 に示すとおりである。

水道用水は、松川町ではダム水、深井戸水、飯田市ではダム水、河川水、高森町では河川水、深井戸水が利用されている。また、事業用水は、対象事業実施区域を含む周辺市町村では、主に河川水が利用されている。

表 4-2-2-21 上水道水源別取水量（平成 23 年度）

（単位：千 m<sup>3</sup>）

地域	地表水			地下水			
	ダム	湖沼水	河川水 (表流水(自流))	伏流水	浅井戸水	深井戸水	湧水
松川町	1,106	0	0	0	0	275	0
高森町	0	0	814	0	0	345	0
飯田市	7,592	0	6,481	0	0	0	0

資料：「平成 23 年度 長野県の水道」（平成 25 年 6 月現在、長野県環境部ホームページ）

表 4-2-2-22 簡易水道水源別取水量（平成 23 年度）

（単位：千 m<sup>3</sup>）

地域	事業名	地表水			地下水			
		ダム	湖沼水	河川水 (自流)	伏流水	浅井戸水	深井戸水	その他 (湧水等)
大鹿村	大河原	0	0	6,604	0	0	36,144	27,214
	鹿塩	0	0	8,087	0	3,143	0	16,610
松川町	峠	0	0	7,227	0	0	0	0
	福沢	0	0	0	0	0	76,907	0
	生東	0	0	52,308	0	0	0	0
豊丘村	北部	0	0	0	0	0	514,697	0
	南部	0	0	0	0	0	229,793	0
	堀越長沢	0	0	46,811	11,096	0	0	0
喬木村	喬木	0	0	0	0	0	379,795	0
	南部	0	0	214,433	0	0	0	0
	大島	0	0	0	38,335	0	0	0
高森町	山吹	0	238,640	0	0	0	76,119	0
飯田市	遠山	0	0	59,073	44,931	0	37,450	204,153
阿智村	第 1	0	0	884,661	0	0	0	0
	第 2	0	0	197,394	0	0	0	0
	大野	0	0	9,344	0	0	0	0
	園原	0	0	0	14,281	0	0	0
	本谷	0	0	15,064	0	0	0	0
	浪合	0	0	74,764	1,493	0	0	0
	あららぎ別荘	0	0	109,500	0	0	0	0
清内路	0	0	64,047	0	0	0	0	
南木曾町	三留野妻籠	0	0	153,029	0	0	0	189,499
	大山蘭	0	0	70,741	88,547	0	0	0
	田立	0	0	180,588	0	0	0	0
	川向	0	0	0	219,000	0	0	0
	北部	0	0	0	153,897	0	0	0

資料：「平成 23 年度 長野県の水道」（平成 25 年 6 月現在、長野県環境部ホームページ）

## 2) 下水道の整備の状況

対象事業実施区域を含む周辺市町村の下水道の普及状況は、表 4-2-2-23 に示すとおりである。長野県全体の下水道の人口普及率 95.9%に対して、松川町、豊丘村、高森町は県全体の普及率よりも高くなっているが、大鹿村、喬木村、飯田市、阿智村、南木曾町は県全体の普及率よりも低くなっている。

表 4-2-2-23 下水道の普及状況

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

地域	総人口 (千人)	処理人口 (千人)	総人口普及率 (%)
大鹿村	1.1	0.5	45.4
松川町	13.9	13.4	96.7
豊丘村	7.0	6.9	98.9
喬木村	6.8	6.5	95.6
高森町	13.4	13.3	99.0
飯田市	104.5	99.2	95.0
阿智村	6.8	6.1	89.4
南木曾町	4.7	3.7	77.5
長野県	2,146.0	2,057.5	95.9

注1. 公共下水道、農業集落排水施設等、浄化槽、コミュニティ・プラントを含む。

資料：「ながの県勢要覧 平成 24 年版」(平成 25 年、長野県統計協会)

### 3) 廃棄物処理の状況

#### ア. 一般廃棄物処理の状況

対象事業実施区域を含む周辺市町村の一般廃棄物搬入の状況は、表 4-2-2-24 に示すとおりである。全ての市町村において可燃ごみ及び資源ごみの割合が高くなっており、可燃ごみの占める割合は約39%～約56%、資源ごみの占める割合は約32%～約54%となっている。

一方、一般廃棄物処理の状況は、表 4-2-2-25 に示すとおりである。大鹿村及び豊丘村を除き各市町村とも焼却量が最も多く約44%～約65%を占めている。大鹿村、豊丘村については資源化量が最も多く、それぞれ約45%、約50%となっている。

また、し尿及び浄化槽汚泥処理の状況は、表 4-2-2-26 に示すとおりである。各市町村とも下水道での処理が無く、し尿処理施設での処理が最も多くなっている。

表 4-2-2-24 一般廃棄物の搬入状況（平成 23 年度）

(単位：t/年)

地域	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	その他のごみ	粗大ごみ	総収集量
大鹿村	0 0.0%	80 42.8%	19 10.2%	86 46.0%	0 0.0%	2 1.1%	187
松川町	0 0.0%	1,359 51.2%	84 3.2%	1,146 43.2%	46 1.7%	17 0.6%	2,652
豊丘村	0 0.0%	474 46.2%	21 2.0%	524 51.0%	4 0.4%	4 0.4%	1,027
喬木村	0 0.0%	524 51.6%	157 15.5%	329 32.4%	3 0.3%	3 0.3%	1,016
高森町	0 0.0%	996 47.7%	57 2.7%	1,031 49.3%	6 0.3%	0 0.0%	2,090
飯田市	0 0.0%	12,814 56.2%	2,222 9.7%	7,760 34.0%	0 0.0%	0 0.0%	22,796
阿智村	0 0.0%	252 38.8%	38 5.8%	353 54.3%	0 0.0%	7 1.1%	650
南木曾町	0 0.0%	527 47.9%	48 4.4%	525 47.7%	0 0.0%	0 0.0%	1,100

注1. 表中の下段は各自治体の総収集量に対する各種ごみの搬入量の占める割合を示す。

資料：「平成 23 年度一般廃棄物処理実態調査結果」（平成 25 年 6 月現在、環境省ホームページ）

表 4-2-2-25 一般廃棄物の処理状況（平成 23 年度）

（単位：t/年）

地域	焼却量	最終処分量	資源化量	その他	総処分量
大鹿村	85	19	86	2	192
	44.3%	9.9%	44.8%	1.0%	
松川町	1,530	84	1,146	63	2,823
	54.2%	3.0%	40.6%	2.2%	
豊丘村	496	21	524	8	1,049
	47.3%	2.0%	50.0%	0.8%	
喬木村	588	58	329	105	1,080
	54.4%	5.4%	30.5%	9.7%	
高森町	1,179	57	846	191	2,273
	51.9%	2.5%	37.2%	8.4%	
飯田市	18,464	2,222	7,591	169	28,446
	64.9%	7.8%	26.7%	0.6%	
阿智村	880	38	193	504	1,615
	54.5%	2.4%	12.0%	31.2%	
南木曾町	599	0	391	188	1,178
	50.8%	0.0%	33.2%	16.0%	

注1. 表中の下段は各自治体の総処分量に対する処理量の占める割合を示す。

資料：「平成 23 年度一般廃棄物処理実態調査結果」（平成 25 年 6 月現在、環境省ホームページ）

表 4-2-2-26 し尿及び浄化槽汚泥の処理状況（平成 23 年度）

（単位：kl/年）

地域	し尿				浄化槽汚泥			
	し尿処理施設	下水道投入	その他	し尿小計	し尿処理施設	下水道投入	その他	浄化槽小計
大鹿村	528	0	0	528	41	0	0	41
松川町	2,011	0	0	2,011	2,413	0	0	2,413
豊丘村	301	0	0	301	695	0	0	695
喬木村	304	0	0	304	888	0	0	888
高森町	1,450	0	0	1,450	1,763	0	0	1,763
飯田市	11,991	0	0	11,991	4,580	0	0	4,580
阿智村	904	0	0	904	1,342	0	0	1,342
南木曾町	1,061	0	0	1,061	2,076	0	0	2,076

資料：「平成 23 年度一般廃棄物処理実態調査結果」（平成 25 年 6 月現在、環境省ホームページ）

## イ. 産業廃棄物処理の状況

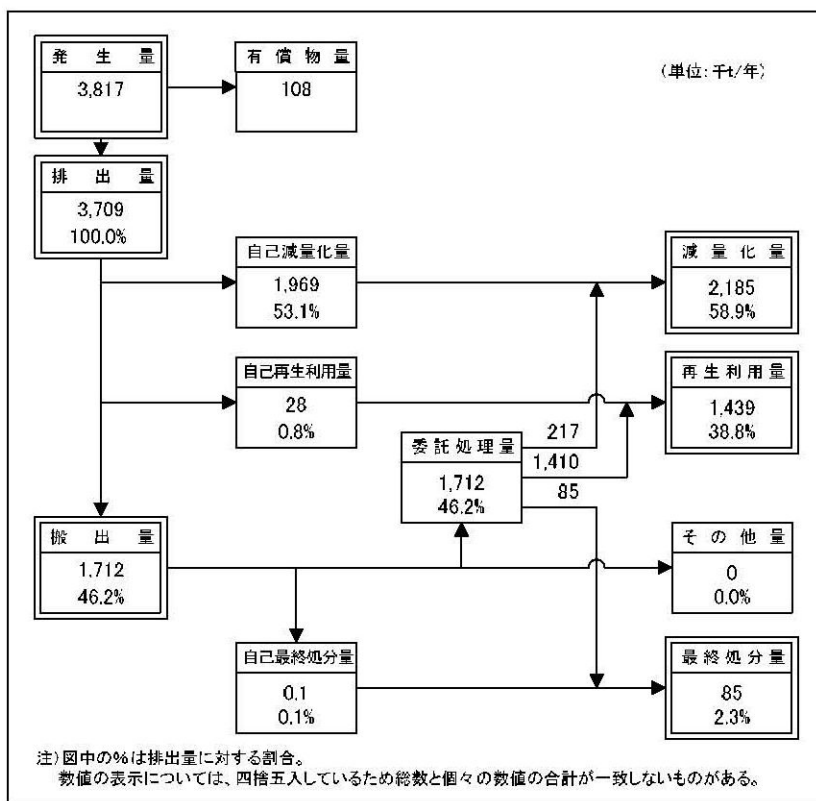
「長野県廃棄物処理計画（第三期）」（平成 23 年、長野県環境部）によると、平成 20 年度の産業廃棄物最終処分量は表 4-2-2-27 に示すとおり、85 千 t であった。平成 27 年度の目標値は国の基本方針の目標値より高い水準を目指す 70 千 t としている。

また、長野県内の産業廃棄物処理状況は、図 4-2-2-9 に示すとおりである。平成 20 年度の 1 年間に長野県で発生した産業廃棄物の発生量は 3,817 千 t で、有償物量は 108 千 t、排出量は 3,709 千 t となっている。県内で排出した産業廃棄物は、最終的には減量化量が 2,185 千 t (58.9%)、再生利用量が 1,439 千 t (38.8%)、最終処分量が 85 千 t (2.3%) となっている。

表 4-2-2-27 県内の産業廃棄物の最終処分量及び目標値

	平成 20 年度 実績値	平成 27 年度 目標値
最終処分量	85 千 t	70 千 t

資料：「長野県廃棄物処理計画（第三期）」（平成 23 年、長野県環境部）



資料：「長野県産業廃棄物実態調査（概要版）（平成 20 年度実績）」  
（平成 25 年 6 月現在、長野県環境部ホームページ）

図 4-2-2-9 産業廃棄物の処理状況（平成 20 年度）

#### 4) 温室効果ガスの排出量

「長野県環境エネルギー戦略 ～第三次 長野県地球温暖化防止県民計画～」(平成 25 年 2 月、長野県)によると、県内の温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量は、表 4-2-2-28 に示すとおりである。

表 4-2-2-28 県内の温室効果ガスの排出量

(千 t-CO<sub>2</sub>)

平成 2 年度(1990 年) 基準年度	平成 21 年度 実績	目標時期	目標年度	目標値	削減目標
15,311	16,640	短期	平成 32 年度	13,800	1,500(10%)
		中期	平成 42 年度	10,700	4,600(30%)
		長期	平成 62 年度	3,100	12,200(80%)

資料:「長野県環境エネルギー戦略 ～第三次 長野県地球温暖化防止県民計画～」(平成 25 年 2 月 長野県)

